

令和5年9月19日

取手市議会議長

金澤克仁 殿

議会運営委員会

委員長 佐藤隆治

委員会中間報告書

本委員会に付託の調査事件について、会議規則第45条の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 調査事件名 令和5年第1回意見交換会時要望・意見に関する当委員会所管事項
- 2 調査の経過 令和5年6月2日、6月13日、8月28日
- 3 意見 別紙のとおり

【議会運営委員会】 令和5年第1回 市民との意見交換会（要望・意見） 調査回答

| | 要望・意見 | 回答 |
|---|---|---|
| 1 | <p>議会を身近に感じさせることが必要。議会の広報の内容が難しくて読む気がしない。具体的に端的に伝えてほしい。</p> <p>そもそも議員の日々の活動が見えない、毎日何をやっているのか。各議員の成績表などが必要ではないか。1年ごとに各議員が何をやってきたかを発表する全員発表の機会を作ればどうか。</p> <p>政治に興味を持てるようになり、信頼が変われば投票率にも影響する。</p> <p>広報の活動が足りていない。やっていると言うかもしれないが、市民に届いていない。議員が日々こういう仕事をしているんだという行動が必要（学校などに出向いて報告・発表する等、興味を持ってもらう。）</p> <p>議会がもっと議論の場になり、市民が関心を持てるようにすべき。</p> | <p>YouTube、HP、ひびき等を用いて発信しています。また、各個人についても、積極的に紙面やSNS、YouTubeを通じて活動を発信しています。これまでも身近に議会を感じてもらえるように、議会改革を進めてきました。今後も身近に感じてもらうように努力してまいります。</p> |
| 2 | <p>若い世代は政治に入り難いと考える。学校では公民の授業でしか学べず、内容も難しく感じる。『政治とはこうだ』というような内容などが具体的に示され、周知が徹底されると若い世代が政治参加し易くなり、投票率向上につながるのではないかと。</p> | <p>中学校等との協働事業を通じて、関心を持ってもらえるような取り組みを続けてまいります。</p> |
| 3 | <p>戸頭北保育所の廃止は地域にとっても大きな問題であったが、廃止を決めた後にパブコメで意見を聞き、一方的に答えたのみ。自治会、町会も含め地域住民に何ら説明もなく実行した。こうした進め方に問題がある。市議会としても進め方に異議を唱えてほしい。大きな課題を進める際、決める前に取手市も、市議会も今日のような話し合いの場を開いてほしい。</p> | <p>議員個人では、課題に取り組んでいます。今後の意見交換会のテーマとして取り上げることも検討します。</p> |
| 4 | <p>議員のなり手不足解消のため、専業で議員活動できるように議員報酬アップも検討してみてはどうか。</p> | <p>研究課題とします。</p> |
| 5 | <p>本日のような対話の機会が沢山あれば、市民の意識も高まり、投票につながるのではないかと。</p> | <p>条例では1回ですが、2回以上開催できるようにします。</p> |